

02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 企業誘致の推進・工業の振興	A	<p>圏央道の県内区間全線が開通し、首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成されるなど交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングを図り、就職説明会を2回開催して目標を達成するなど、労働力の確保に努めました。</p>	<p>地域産業の維持・振興を図るため、引き続き新規企業の誘致、既存企業の事業拡大を支援し、雇用の創出を図っていきます。</p>
2 商業の振興・中心市街地の活性化	B	<p>商業振興に関しては、景気は緩やかに回復傾向に向かっていおり、商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策、また、市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取り組んでおりますが、成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については、一定の成果を上げてきましたが、引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。</p>	<p>情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進してまいります。</p>
3 農林業の振興	B	<p>農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり、経営転換や高齢化等による離農対策に寄与しています。 農作物の販売においては、直売所の伸びとともに、産地・大学等との連携による、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、知名度アップ、ブランドアップに期待が持てます。一方で、農業従事者については、高齢化が進む中で、担い手の確保・育成が課題となっています。</p>	<p>農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し、魅力ある農業、儲かる農業を目指します。また、集落営農の法人化や担い手の確保・育成を図っていきます。</p>
4 観光業の振興	A	<p>石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できました。平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成28年実績では1,475,600人であり、計画における観光入込客数は概ね順調です。</p>	<p>豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、新たな観光振興計画を策定し、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。</p>

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化，就職相談会や面接会の実施

1 総括評価

A	総括評価
	圏央道の県内区間全線が開通し、首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成されるなど交通の利便性が向上したことやワンストップサービスによる企業誘致活動を行った結果、企業の新增設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングを図り、就職説明会を2回開催して目標を達成するなど、労働力の確保に努めました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	地域産業の維持・振興を図るため、引き続き新規企業の誘致、既存企業の事業拡大を支援し、雇用の創出を図っていきます。

2 主要事業の概要

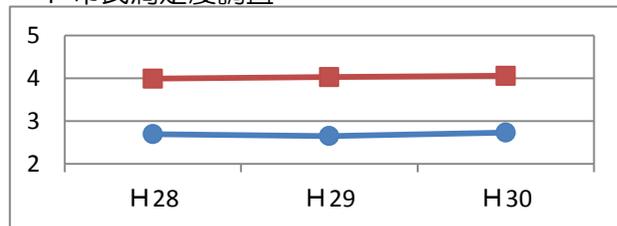
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業【商工課】	工業団地内に新たな企業を受け入れる土地も十分ではないことから、周辺未利用地への立地促進や既存企業の事業拡大を支援し撤退抑止に努めるなど企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業【商工課】	中小企業と地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口減少の抑止に資するよう事業推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
柏原工業団地の土地利用 率	柏原工業団地の敷地面積のうち工場等家屋の建築面積の占める割合	%	28.96 (H22)	31.8	33.0
就職相談会、面接会の実施 件数	企業の就職相談会及び面接会を開催する件数	回	0 (H22)	2	2

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.70	3.99
平成29年度調査	2.65	4.03
平成30年度調査	2.73	4.06

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O2商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援，中心市街地での新規出店者支援

1 総括評価

B	総括評価
	商業振興に関しては、景気は緩やかに回復傾向に向かっていおり、商店街等の賑わいと活性化へ向けた施策、また、市内商業高校と連携した特産品等の商品化支援に取り組んでおりますが、成果指標の目標値に至っておりません。中心市街地活性化については、一定の成果を挙げてきましたが、引き続き目標に向かいより積極的な活性化策を継続していく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づいた市街地の整備や商業活性化を推進してまいります。

2 主要事業の概要

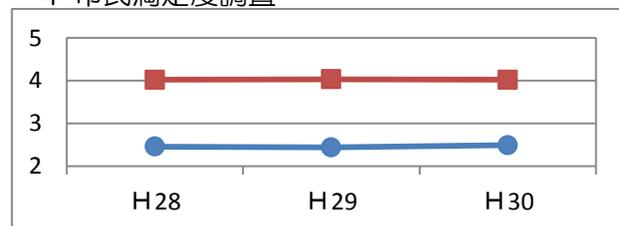
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
商工振興事業【商工課】	関係団体等と協力し、魅力ある商店街の創出を検討し、交流人口の拡大を図ります。
中心市街地活性化事業【商工課】	中心市街地活性化基本計画（第2期）の中で、見直しが必要な事業については、事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また、新規事業として、これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	3,904
中心市街地の歩行者通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	2,644 (H20)	2,780	2,181
年間商業販売額	商業統計調査による市内商業販売額	億円	1,191 (H22)	1,191	1,053
中小企業事業資金保証料補給金件数	事業資金の融資を斡旋しその保証料を補給する件数	件	149 (H22)	200	115

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.46	4.02
平成29年度調査	2.44	4.03
平成30年度調査	2.49	4.02

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進，新規就農者支援

1 総括評価

B	総括評価
	<p>農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり，経営転換や高齢化等による離農対策に寄与しています。</p> <p>農作物の販売においては，直売所の伸びとともに，産地・大学等との連携による，高品質な果樹のブランド創りに取り組み，今後，知名度アップ，ブランドアップに期待が持てます。一方で，農業従事者については，高齢化が進む中で，担い手の確保・育成が課題となっています。</p>
<p>A 順調</p> <p>B 概ね順調</p> <p>C 遅れている</p> <p>D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	<p>農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し，魅力ある農業，儲かる農業を目指します。また，集落営農の法人化や担い手の確保・育成を図っていきます。</p>

2 主要事業の概要

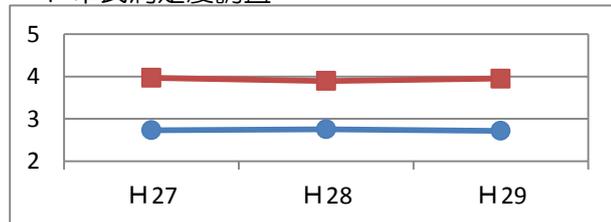
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
農業委員会一般経費【農業委員会事務局】	農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積等に一定の成果が得られました。今後は農地の面的集積を図り，大規模経営体の育成が必要です。
農力アップ推進事業【農政課】	県外に向けPRを実施しており，一定の知名度アップは図られている。今後は，魅力アップ・ブランドアップに注力し，継続した事業運営が必要。
新規就農者支援対策経費【農政課】	積極的なPR活動を展開し，新規就農者の確保を目指すとともに農業次世代人材投資資金，朝日里山ファームを活用した支援をしていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
農地利用権設定面積	農地の流動化推進と集積	ha	413 (H25)	718	703
人・農地プラン策定地区数	人・農地プランにおいて地域ごとの計画を策定する地区	地区	12 (H25)	20	18
直売売上額	直売による売上額	千円	800,000 (H25)	900,000	1,096,000
森林ボランティア数	市内森林の維持管理ボランティア新規登録者数	人	9 (H25)	24	30

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.76	3.89
平成29年度調査	2.71	3.95
平成30年度調査	2.72	3.91

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

	総括評価
	<p>石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できました。平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成28年実績では1,475,600人であり、計画における観光入込客数は概ね順調です。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、新たな観光振興計画を策定し、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。</p>

2 主要事業の概要

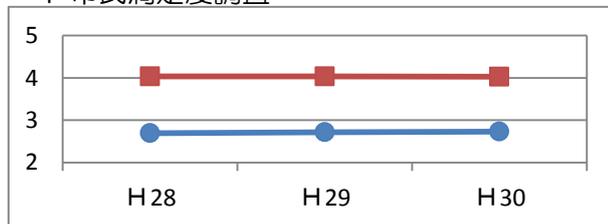
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
筑波山地域ジオパーク推進事業【観光課】	日本ジオパークに認定された筑波山地域ジオパークを新たな観光資源としてとらえ、ジオパークを利用した交流人口の拡大を図るなど、新たな事業を展開していく必要があります。
観光対策経費【観光課】	地域特性を活かした観光エリアの魅力アップ、周遊できる環境づくり、石岡ブランドの確立とPRに取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	835,400 (H21)	1,250,000	1,475,600 (H28)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.69	4.03
平成29年度調査	2.72	4.03
平成30年度調査	2.73	4.03